

広報

さ か い

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|---------|
| 特集 温故創新 | 2 |
| 市福祉保健総合計画(案)
パブリックコメントを募集 |18 |
| 年末年始のご案内 |31 |

市内には、全国に向けた名産・特産といわれるさまざまな資源がある。
それらは、それにかかわる人の誇りで守られてきた“地域の宝”だ。

第1章

原石

荒波がはぐくむ冬の味覚 越前がに

最高級の証 あかし

ズワイガニは、寒さ厳しい冬の日本海からの最高の贈り物。三国港で水揚げされるものは、鮮度が抜群にいいといわれています。大正時代から皇族にも喜ばれていたという話もあるほど、高級品として定評がありました。

ところが、北海道や山陰地方などでとれたものが、越前がにとし北陸地方にも出回るようになりました。



三国港はカニの漁場が近く、生きたまま水揚げするため、鮮度が抜群にいいといわれています。その“証”が「越前がに・三国港」と書かれた黄色いタグ。本市は先駆けて越前がにの“味覚のブランド化”に取り組んできました。1kg当たりの単価は日本一。皇室にズワイガニを献上するのは、全国でも三国港だけです。この誇りを形にと、三国港独自で「献上品質」のタグも開発。三国産産の価値をさらに高めるものとして期待されます。

それと区別するため、福井県機船底曳網漁業協同組合が県内全域でタグの取り付けに着手したのは11年前。発案した米田清さん（三国町西滝谷）は「組合員のカニを選別する日は日本一。名前を守ると同時に、他産地とは鮮度が違うという証をつけたかった」と言います。

坂井市きっての特産品、越前がには、こうした努力によってその価値が守られています。

三国港機船底曳網漁業協同組合 代表理事組合長 米田 清さん

特集

温故 創新

「坂井市には、どんなものがあるの？」と聞かれたら、あなたはへと答えますか。豊かな自然、悠久の歴史、県随一の穀倉地帯という恵まれた環境にある、坂井市。おいしい食材や伝統産業など、さまざまな「資源」があります。

地域の資源は、そのまちの歴史や文化、暮らしを象徴するもの。また、それらは時に、人々に感動を与えるものでもあります。

今、全国的に地域資源を活用した地域活性化の動きが注目を集めています。今回は、地域の回りに何げなくある、古くて新しいもの——。

地域ブランドの取り組みを追い、地域資源の新たな価値と可能性を考えます。



ふくいの伝統野菜 越前白茎ゴボウ

平安時代以前にシベリアから渡来し、越前（福井県）に根付いたといわれる越前白茎ゴボウ。シャキシャキした食感で、あまり苦味がないのが特徴です。春江町の女性グループが普及活動に力を入れています。

伝統野菜として定着を

根だけでなく、主に茎を食べる越前白茎ゴボウ。春江町では明治時代から、種を採るために栽培されてきましたが、葉物野菜として普及してはどうかと、春江町農村女性活性化委員（三上かよ子代表）が昭和60年ごろから食用に栽培を開始。味付け加工・販売まで一貫して行い、商品は「白茎ごんぼ」としてユリウム直売市などで人気を集めています。

この風土に根付いた野菜だからこそ、安心して食べられる——。

「ここにしかない風味と食感を届けたい」という三上さんたちのこだわりが息づいています。



春江町農村女性活性化委員の皆さん（左端が三上さん・春江町大牧）



味付煮としてだけでなく、ロールサンドやパスタに入れたり、生の葉をかき揚げにしたりなど、用途の広い越前白茎ゴボウ。さらなる普及が期待される。

そば通をうならせる風味 丸岡産そば

丸岡町で栽培されるそばは主に地元へ伝わる在来種で、他産地のものと比べて実が小さいのが特徴です。JA花咲ふくいの徹底した生産指導と品質管理の下に出荷され、そのそば粉で打つそばは、風味も歯ごたえも文句なし。そば好きが生み出す豊かな味わいが、全国から支持を得ています。



JA花咲ふくい丸岡支店
基幹支店長 小寺 惣吉さん



丸岡産そばは、転作用に20年ほど前から町全域で栽培。平成8年には100畝だった作付面積は10年間で3倍以上に。

そば好きのこだわり

作付面積も増え、出荷も軌道に乗っていた平成8年。当時、そばの乾燥や選別を一手に引き受けていたJA花咲ふくいの小寺惣吉さん（丸岡町舟寄5区）は、京都のあるそば店からこんな言葉を聞かれます。「いい品種なのに、乾燥にムラがあつておいしくない」。商品価値を上げるため、小寺さんはJAや役場に働きかけ、乾燥のシステム改善に着手。今や、乾燥から選別まで、最高の技術とこだわりで袋詰めされる丸岡産そばの品質はピカイチ。挽いたときの弾力も申し分なしと、全国のそば店が買い求めます。

「在来種へのこだわりと品質管理の徹底が、お客さまの信頼と期待に応えるための使命です」と小寺さん。生産者らの丸岡産そばへの愛情が、食べる人を納得させるおいしさにつながっているのです。



子供たちにも大人気の丸岡産そば（新そばまつり）。丸岡の風土がはぐくんだそばは、石臼で挽くと緑色のそば粉になり、香りや歯ごたえがいいのが特徴だ。

地元へ愛される本物の酒を

酒造りを仕掛けたのは、販売店側。危機感からの脱却がねらいでした。

洋酒などに押され地元酒蔵が次々廃業。いつの間にか販売店では、お客さまに他産地の酒を勧めることが増えました。「寂しかったね。だから、自信を持つて売れる酒を、自分たちで造ろう」と思ったんです」と、有限会社丸岡酒販の樋田文洋さん（丸岡町上田町）は言います。

混じりけのない本物の地酒だから広く受け入れられる。だからこそ、まず地元の人に味わってほしい。芳香を漂わせながら、吊り袋を滴り落ちる、今年「初しぼり」の地酒「鬼作左」。その一滴一滴には、酒販店主たちの地元へのこだわりが込められています。



地元こだわった純米酒 鬼作左

辛口ですっきりした味わいの「鬼作左」。米、水、醸造まですべて丸岡で一貫生産される“地域限定酒”です。丸岡町内の酒販店と地元の酒蔵である久保田酒造（同町山久保）で作る有限会社丸岡酒販は、4年前から酒造りを手掛けています。販売店主自らが酒造りにかかわることで、食の安全性も「折り紙付き」。自信を持って売れる酒を造りたいという思いが実を結び、今では販売すれば売完となるまでになりました。同酒販では「いずれは値段も手ごろな上撰酒も造りたい」と、意気込んでいます。

有限会社丸岡酒販
代表 樋田 文洋さん



10月に刈り取りが行われた酒米「山田錦」。その実りは上々だ。



レストラン朱雀 竹内 博之さん
一番おいしい食べ方と、自らステーキを焼くことも。

食の安全安心ネットワーク

牛肉は、外国産牛のBSE（牛海綿状脳症）発症問題以降、味わい、肉質とともに、その安全性が追求されています。

「すべて自分で管理して、自信を持って出荷したいから、繁殖と肥育を一貫して行います」とは、肥育農家の野村潮司さん（坂井町下兵庫）。出荷までの約30カ月、一頭一頭の系統や育ち具合を確かめながら、餌のやり方を変える徹底振りです。創業以来ステーキを中心に提供している「レストラン朱雀」。ここには、若狭牛の味を求めて、記念日を過ごす人や県内外のグルメツアー団体客らが訪れます。「ほかの高級和牛の味を知った上で、若狭牛を食べに来られます。期待は裏切れ



風土がはぐくむ最高品質 若狭牛

明治時代から食されてきた福井県産黒毛和牛。その最高品質のものが「若狭牛」と呼ばれています。肉質はきめ細やかで、上品なサシと柔らかさが特徴。その安全性は、生産者や取扱店によって守られています。市内では、県内生産量の8割を占めています。

「肥育農家の育て方を見て、間違いない安全だと思えた肉しか置きません」という「肉はナカノ」の中野直幸さん（春江町為国幸）。「肥育農家は、地元で集めた稲わらをえさにするほど安全性を追求しています。その苦労や育て方、一頭からとれるわずかな肉の価値を知ってほしい」と熱く語ります。

若狭牛に携わる人の、情熱や命へのこだわり。それが、食の安全安心のネットワークを構築し、若狭牛の価値をさらに高めているのです。

同じ機能のモノがあふれ、その違いを示すことが難しい現代。

商品に付加価値をつけることで、消費者を引きつけようとする志向が高まっています。

一方、少子高齢化や地方疲弊が進む中、

地域そのものの価値や独自性を重視する風潮が高まり、

地域の総合力でこれまでにない価値を創ることが注目されるようになりました。

今、全国で「地域ブランド」への取り組みが本格化しています。

本市においても、その取り組みは広がっています。



畜産農家 野村 潮司さん
牛にはなるべくストレスを与えない。肥育は気を抜けない仕事だ。



肉はナカノ 中野 直幸さん
「肥育農家に稲わらを提供した人が、その味を楽しみに買いに来ることもある」。熟成しうまみを増した若狭牛を心を込めて包む。

磨く

地域資源という“原石”は、そのものだけでも存在する。

でも、ただそこにあるだけでは、そこから放つ輝きは限られる。より輝くヒントを探る。



丸岡ファインテックス協同組合 理事長 柳澤 正敏さん

新たに開発したバイオマーク(上)。土の中に入れて約3ヶ月で分解される(下)。

地域限定商品としてのブランド

国は、地域ブランドの振興を目的に、商標保護と育成に力を入れています。商品やサービスに付される商標を保護する商標制度は、ブランドを法的に保護する代表的なもの。18年4月に改正され、地域団体商標制度が設けられたことで、「地域名」と「商品・サービス名」を組み合わせた商標が、より広く認められるようになりました。市内では、「越前竹人形」や「越前がに」などが地域団体商標に認定されています。また、三国港機船底曳網漁業協同組合が「三国のズワイガニ」として同商標に登録出願中です。

丸岡町で織られる織ネームの生産量は、全国の7割を占めています。しかし、外国産に押されて生産量が落ちるなど、地場産業である織ネーム業界の衰退が色濃くなってきました。「地元で織る織物を『越前織』として地域団体商標登録したねらいは、業界の活性化です」と、丸岡ファインテックス協同組合の柳澤正敏さん(柳澤正敏)。



織ネームは、洋服の襟元やかばんなどのブランドネームとしてついている。数字角の小さな織物。

越前織 業界の活性化を

さん(丸岡町一本田福所2区)。「高い技術力を持つていても、中小企業ではPRできない。『越前織』という『旗印』を産地として掲げること、産地としてPRでき、組合員の士気が高まります」。また、それを起爆剤に、土の中で分解されるポリエステル繊維を使った越前織製品「バイオマーク」を開発するなど、新分野への開拓も視野に入れています。

消費者の保護を

三年子花らっきよ
三里浜のラッキョウ栽培の歴史は古く、明治初期、砂の飛散を防ぐため、自給の作物として栽培したのが始まりと言われています。ラッキョウは、8月に植え付けし、翌年の6月に収穫する一年掘り一般的なのに対し、三里浜では土の中で冬を2回越した三年掘りを行っており、これを地元では、三年子と言います。

「ラッキョウの産地としてすでに定評のあつた昭和40年代には『花らっきよ』という商品名で販売していました。三里浜特産のラッキョウは、小粒でシャキッとした食感が特徴です」と、三里浜特産農業協同組合の小林欣弥さん(小林欣弥)。

近年、三里浜産の加工法をまねた外国産の類似品が流通し始めたことから、それらと識別するため、3年前に「三年子花らっきよ」として商標登録。「消費者の皆さんに、伝統と風土にはぐくまれた、本物の三里浜の味を提供したい」と小林さんは力強く言います。現在「福井の花らっきよ」という商品名で、地域団体登録出願中です。画一化さ



地域そのものをブランドに

今は、とにかくモノが行き渡っている時代。売る方も、ただ売るだけでは売れない時代です。同じモノで、それがほかと何が違うかを明確にしにくい中で、いかに消費者を引き付けるかを考えたとき、確かに、ブランド商品として価値を発信することは一つの手段です。

地域そのものの価値や独自性を重視する風潮が高まる中で、こうした地域ブランド化への取り組みは、特産品・名産品だけに限ったものなんでしょうか。



福井県立大学経済学部 小倉 行雄 教授

福井県立大学経済学部の小倉行雄教授は、次のように話しています。

- 名産品や特産品はもちろんですが、名産品や特産品でなくても地域ブランドになり得ます。
- 多くの人がかかわって、新しく地域で誇りになるものを、身近なところから創り出すのです。
- やきそばでまちおこしをしている静岡県富士宮市がとてもいい例です。やきそばという、ごくありふれたものでも、ほかにはない作り方をしていたことを生かし、地

域の活性化につなげました。また、「二筆啓上賞」も同じことが言えます。「手紙」という文化資源を題材に、坂井市を全国に知らしめました。仕掛けたのは一つの事業団ですが、結果的に地域全体に誇りをもたらすものになっています。

何となく見過ごしてきたもの、古くから当たり前にあったものを掘り起こす。もともとあつた一つの資源を、そこに住む人や暮らしや伝統と一体化して、より魅力的なものに創り上げていく。地域ブランドへの取り組みとは「魅力的なまちづくり」と言っても過言ではありません。

単体のモノだけではなく、観光や食、産業などの連携が薄かったさまざまな資源を融合させて、地域そのものを戦略的にブランド化することで、集客や流通などへの相乗効果や好循環が生まれるのです。

単体のモノだけではなく、観光や食、産業などの連携が薄かったさまざまな資源を融合させて、地域そのものを戦略的にブランド化することで、集客や流通などへの相乗効果や好循環が生まれるのです。



三里浜特産農業協同組合 代表理事組合長 小林 欣弥さん



植え付け時には1株に2球だったものが、それが一年で6~7球に分球し、そのたびに皮が薄く繊維が細くなり、身も締まる。三年子は、分球サイクルが多い分、小粒で歯切れが良く、風味もまろやかなのが特徴。この食感に根強い人気と需要がある。



▲写真提供 富士宮やきそば学会 ▲写真提供 富士宮市役所秘書広報課

やきそばでまちおこし ~静岡富士宮市~

富士宮青年会議所のメンバーが、路地裏の活性化に着目した際、やきそばを提供する店が多いことを発見。その実態を調査するために「富士宮やきそば学会」を組織化、メンバーを「やきそばG麺」と命名。調査結果を基に「富士宮やきそばマップ」を作成した。静岡県内外で行われるイベントに出張してやきそばを焼くことを「モバイルミッション麺ポツンブル」と呼び、積極的に活動した。市制60周年には、やきそばで有名な秋田県横手市、群馬県太田市の市長とともに「三者麺談」を開催。また、やきうどんでまちおこしをしている小倉(北九州市)と「天下分け麺の戦い」を実施した。B級グルメでまちおこしをしていた日本各地と協力して実施した「B1グランプリ」では2年連続優勝し、その知名度を不動のものにした。平成13年以降6年間の経済波及効果は217億円といわれる。

光る

昔からあった資源を掘り起こし、光を当てる。

誇りが生まれる。そこに人が行き交う。地域そのものがブランドになる。



三国湊きたまえ通り市では、陶芸やガラス細工、昔懐かしい道具の店が軒を連ね、情緒あふれる「通り」を楽しむ観光客などにぎわった。

北前船の寄港地として栄えた港町、三国湊。近年、船問屋が軒を連ねていた往時の面影が残る旧市街地を舞台に、市民団体によるまちづくりが行われ、着実な成果を挙げています。

地域そのものを地域ブランドとしてとらえたまちづくりを追い、そのねらいや効果を探ります。

にぎわい再生に向け、始動

三国湊の恵まれた資源を生かし旧市街地を昔のように元気にしたいと、有志が立ち上げたのが「三国湊魅力づくりプロジェクト」。同

プロジェクトは、三国湊の魅力を包括的に地域ブランド化することで、この地域全体の魅力を高め、全国に誇れるまちにしようと取り組んでいます。4年前に、県の「地域ブランド創造活動推進事業」に採択されたことで、まちづくり活動に弾みがつきました。



三国湊座では毎週のようにイベントが行われる。

3本柱 年間9万人が訪れるまちへ

同プロジェクトでは、これまで眠っていた三国湊の魅力にスポットを当て、観光の受け皿を少しずつ整備していきました。

観光の拠点施設として「三国湊座」をオープン。三国湊から東尋坊を巡るクルージングツアーなどを整備しました。また、旧森田銀行本店前の通りを「三国湊きたまえ通り」と名付け、三国湊座での芝居上演や三国湊きたまえ通り市を仕掛けました。



三国湊座で提供している三国バーガー(左)は、県内産の牛肉やピクルスの代わりに三里浜の花らっきょを使うなど、食の安全と地産地消にこだわっている。また、カルナのジェラート(右)も、添加物を一切使わず、旬の野菜や新鮮なミルクなど本物の素材にこだわっている。本場のイタリアまで視察にいった開発したという本格派だ。

さらに、地元の素材にこだわったジェラートを提供する「ジェラート&スイーツカルナ」をオープン。旬の野菜などを使ったジェラートは、三国湊一押しメニューの三国バーガーとともに人気を呼んでいます。三国湊のまちづくりにかかわる人が「心の支え」としているのは、旧森田銀行本店の存在。過去に、解体寸前までいきながら免れた経緯もあり「これが残っているからこそ、誰もがこのまちで誇りを持って生きていける。そんな核的な存在です」と、同プロジェクトの西澤弘之さん(三国町元新)は言います。一方で、「三国湊緑のリレープロジェクト」として、松枯れのひどい海岸線で植栽を続けたり、地域住民への意識付けを行ったりと、きめ細やかな活動も展開しています。これらの活動のキーワードとなっているのは、「町並みの活性化」と「文化振興」と「環境保全」です。



NPO法人 三国湊魅力づくりプロジェクト 理事長 西澤 弘之さん

- ①②③ 三国湊きたまえ通り市
- ④⑤ 三国湊緑のリレープロジェクト
- ⑥⑦ 三国湊こどもエコスクール



1



2



4



5



6



7

もともと地域が持っていた観光資源と同プロジェクトの3つのキーワードを柱とした戦略、さらに、市が進めている「街なみ環境整備事業」とがうまくかみ合い、閑散としていた通りは、若者や家族連れがジェラート片手に散策を楽しむ活気あるエリアへと生まれ変わったのです。現在では、年間約9万人の人が訪れています。

もともと三国町は町人のまち。おもてなしの気質、まちおこしも自ら盛り上げる気風があるのかもしれない。住んでいて楽しく、誇れるまちを作りたいという思い。それは、観光客が多く行き交うようになった通り沿いに住むお年寄りの「昔はまだまたにぎやかだったにぎやかな方がいいよ」という言葉にも表れています。

同プロジェクトが線同士をつないで作りあげた面は、まさに三国湊というブランド。今後も地域全体にアンテナを張り巡らせた取り組みが期待されます。

自分たちが楽しむまちづくり

同プロジェクトには、まちづくりに関して一つの信念があります。それは、自分たちが楽しいと思う取り組みをするということ。「情報発信ばかりしていたら疲れてしまう。そうではなく、身の丈にあったやり方で、まず自分たちが楽しめば、何か三国で楽しそうなことをやっているぞ」と人が自然と集まってくるんです」と西澤さん。

点を線に、線を面に

歴史建造物や新しく整備した三国湊座など、資源一つ一つは点にすぎません。点と点をつないだ線を、さらに広げて地域という面にしていくために、同プロジェクトの思いは尽きません。「これからの観光客が望む観光地は、環境に対応しているか、安心できるかがポイントになってくる」と西澤さんは言います。「例えば、ジェラート一つにしても、自分たちの栗林でとれた栗を素材にする、観光客をその栗林に案内し、ジェラート片手に散策する。それは、里山保全にもつながります」。



旧森田銀行本店は、大正9年に建てられた、県内で最も古い鉄筋コンクリート造りの建物だ。

挑む

市内に数多くある地域資源。

それらが出会い、融合することで、新たな可能性を醸し出す。

今年6月、魅力ある観光都市を目指して、市観光連盟が発足しました。

市では、同連盟と一体となり、今年度中に「市観光ビジョン戦略基本計画」を策定する予定です。

その中に、市内でとれる食材を観光地などで活用できる仕組みづくりを盛り込もうという機運が高まっています。

交流から生まれた チャレンジ精神

市内には漁業や農業、観光など、各種の団体があります。旧町時代は、旧町の観光協会を中心に、それぞれの課題を抱えながら活動してきました。

市観光連盟が発足したことで、これまでになかった新たな地域間交流が生まれ、お互いが持っている良さを組み合わせ、何かものづくりができないかという、頼もしい動きがでていきます。

そこで着目されているのが「甘エビ」と「油揚げ」。同連盟ものづくり部会が、三国港で最も水揚げ量

の多い甘エビと、人気の高い丸岡町竹田産の油揚げを使って、新しいメニュー作りに取り組んでいます。

鮮度との戦い

これまでも、甘エビの消費拡大に向けた取り組みがありました。甘エビは一度にたくさん量がとれます。ところが、とれた次の日

にはミソの部分を中心に色が黒ずんでくるほど、日持ちがしない海産物です。

主に刺し身として喜ばれるものですが、それだけでは消費量が限られます。せっかくなにかとれるのだから、もっと地元の人に食べてもらいたい、三国網元おかみ会が中心となり、甘エビを使った五目ずしや押しずし、炊き込み



シェフの小川智寛さんを講師に、甘えび料理講習会を9月7・8日に開催。「野菜は種類ずつ鍋に入れ、そのたびに塩をふって素材の味を引き立たせる」などコツを学んだ。

麻布十番での成功

刺し身や茶わん蒸しなど、何かと和食に取り入れられる甘エビ。ところが、その発想を切り崩したのが同部会です。

東京・麻布十番のフランス料理店「エルブランシユ」。こだわりの



県内の漁港の中で、最も甘エビの水揚げ量が多いのが三国港。三国港で水揚げされる海産物の中でも最も多いのも甘エビ。昨年の漁獲高は約316t。鮮度が短く、生食に用いることが多い。

の食材を扱う名店です。その店を構える丸岡町出身の小川智寛さんと同部会長の荒井生美さん（丸岡町上富田）が親交があったことから、甘エビをフランス料理に取り入れてみることになったのです。しかも、市内のさまざまな食材をコラボレーションさせようと、竹田産の油揚げや市内でとれる野菜などを使った家庭料理を考案することになりました。



三国網元おかみ会のメンバーが考案した甘エビのから揚げは、イベントなどでも大好評。

メニューは、甘エビと地場産の野菜をふんだんに使って、油揚げをピザトースト風に焼いた、ヘルシーな一品です。

手始めに今年8月、東京の麻布十番商店街での納涼祭りに出品してみたところが大反響で、作った300食はあっという間に完売。商店街の人たちが「十番焼き」という名前まで付けてくれるという人気ぶりだったのです。

ご当地グルメ 手がかりを 手応えに

麻布十番での成功を、地元を広めない手はない。東尋坊や丸岡城など市内のいろいろな観光スポット

トで手軽に提供できるのではないだろうか。甘エビや地場産野菜の消費拡大にもつながる。同部会の思いはますます膨らみ、とうとうシェフの小川さんを招き、十番焼きの料理講習会を開きました。

料理講習会には、三国網元おかみ会やNPO法人ボランティアガイドきたまえ三国など会員約20人が参加しました。甘エビも油揚げも野菜も、市内に住む人にはなじみのある食材ばかり。それらで作る手軽で新たな「ご当地グルメ」に、大きな興味と期待が集まりました。

料理講習会ではさらに、甘エビの頭や殻を使って「エビ油」を作ってみることが提案されました。処分されることが多い殻などの部分には、エビのうまみや香りが最も凝縮されているといわれています。

エビ油を加工できれば、共通の一品として市内の民宿や旅館、料理店で広く使えます。保存もきくので、土産品としての販売も夢ではなくあります。「お客さまにお出しする料理は民宿などそれぞれのものになります。どこでも同じエビ油を使うことで、一つの郷土料理のようなものになるのでは」と荒井さんは言います。「丸岡城やゆりの里公園などの観光スポットで、エビ油を使ったスナックを食べ歩きできるようにするなど、市内全体で取り組めるようになるといいですね」。

坂井市ならではの味覚の発掘に、可能性が広がり始めました。



ズッキーニやパプリカなど地場産の野菜を南仏料理のラタトゥイユ風に煮込み、甘エビやチーズとともに油揚げの上に乗せてオープンで焼き上げたもの。

市観光連盟ものづくり部会
部会長 荒井 生美さん

温故 創新

「青い鳥」は
私たちのの中に



地域資源にかかわる皆さんから異口同音に聞かれたのは「消費者である市民の皆さんに、確かなモノを提供したい。良さを知ってほしい」という切なる言葉でした。同じような機能を持つモノがあるから今、時代が「本物」を求め質や技術を極め、なおかつ守り育てる努力を続けています。

おなじみのモノから、まだこれからのモノまで地域資源は多種多様しかし、産地や品質、伝統へのこだわりを証にしたこれらの資源は、坂井市を活性化させる大きな可能性を秘めた「原石」です。

一方、こんな言葉も聞こえてきます。「坂井市にはいいものがない」といある。みんな、それに気付いていないだけ」。

なぜ、このまちに住む人は気持ちにくいのか。それは、価値ある地域資源が、私たちの生活文化や風土に一体化し、溶け込んでいくから。ほかのまちから坂井市を見たとき、高く評価される地域資源がたくさんあります。だからこそ、生産者や技術者だけが声を上げるのではなく、私たちもその声に耳を傾け、関心を持つ必要があるのです。

生活文化に溶け込んでいるとい

うことは同時に、「原石」を磨こうとしたとき、私たちの中に受け入れられる基盤があるということ。

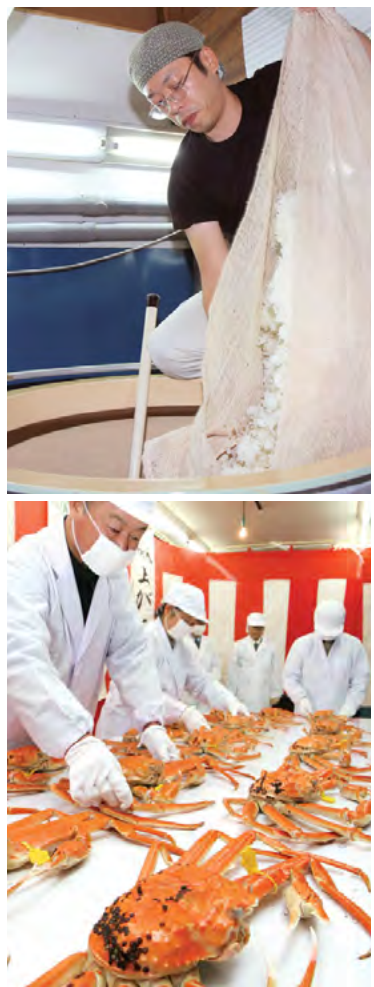
市民に愛され、親しまれる地域資源であつてこそ、光るのです。そして、新たな可能性を求め、地域資源同士の融合にも挑めるのです。そのプロセスを楽しむことが、次第に魅力ある坂井市を創り上げることになるのです。

さらに、私たち自らが、その楽しさや魅力を外に向けて発信することで、その魅力は一過性のものではなく、確かな誇りとしてずっと輝き続けるものになるのです。

「温故創新」。古くから点在する一つの資源の素晴らしさに気づこう。それを発信しながら、未来にもずっと残していける地域の魅力や誇りを創ろう。

古きよき伝統を守り続けてきたのも人、資源を価値あるものに創り上げたのも人。そして、それを今後育てていくのも人の力です。

その力は感動を伴って、今は小さなさざ波でも、少しずつ大きな波紋を描き、輝かしい誇りとなつて市全体に広がっていくはず。地域ブランド——地域資源を原動力に、坂井市を魅力的なまちに活性化するための一番の「応援団」は、ほかならぬ私たちなのではないでしょうか。



ドングリで豊かな森に わんぱく少年が自然再生 11月15日(土)

松枯れ被害で失われつつある森林景観を自分たちの手で取り戻そうと、わんぱく少年団の約40人が海浜自然公園で、クヌギやコナラなどの苗木約200本を植えました。苗木は、昨年11月、団員が同公園内でドングリを拾い集め、公園内に整地した畑で一年かけて育てたもの。団員は、育った苗木を、松枯れして伐採された切り株近くに植樹していました。



▲「ドングリが大きく育ててびっくり。将来は、これが私の植えた木と自慢したい」と話す森下奈奈さん(三国北小6年・写真右)



▲国内外から応募のあった作品を、住友グループ広報委員会が一次審査(11月13日~15日)

筆啓上賞応募総数が 100万通を突破!

新一筆啓上賞『『夢』への手紙』の募集が終了し、現在、審査が進められています。今回の応募総数は6万1283通。昨年の1.6倍を越す作品が寄せられました。また今回、「一筆啓上賞」「新一筆啓上賞」を通算した応募数が100万5226作品に。丸岡町文化振興事業団が平成5年に開始した日本一短い手紙のコンテストは、16年間で100万通を突破しました。



▲郷土芸能「でんすけ」を発表する「でんすけ保存会」



◀「各支部の会員一人一人が文化の薫るような活動にしていかなければならない」と式典であいさつする山田昭雄市文化協会長



▲各支部代表によるステージ発表やお茶席などが行われた総合開会式

第3回文化祭 盛大に 文協会員が成果を披露 11月1日(土) ~3日(月・祝)

市民文化祭が開催されました。文化協会の支部ごとに設けられた会場では、芸能発表や作品展示などが行われ、会員が一年間の練習成果を披露しました。初日には、総合開会式がハートピア春江で開かれ、式典や郷土芸能などを発表。約400人が来場し、優れた舞台や作品を鑑賞するとともに、出演者らと作品について話し合い、市民の融和を深めていました。

丸岡城の桜を 木の“お医者さん”が診断 11月17日(月)

丸岡ロータリークラブは丸岡城の桜を市民の手で守ろうと、県総合グリーンセンターの樹木医・今井三千穂さんに依頼し、城周辺の桜282本の診断を実施。「守ろう さくら100選の城山」フォーラムを城のまち会館で開催し、診断結果を公表しました。フォーラムで今井さんは、現在の桜の健康状態を話し、桜を長く楽しむための管理などを助言していました。



▲「丸岡城の桜の老齢木は少し元気がなく、幼齢・壮齢木は全体的に健康と判断した」と話す今井さん



▲女性の自立とそれを支える家族の大切さを描いた「ぼてさん」

紙芝居「ぼてさん」で 男女共同参画を再認識 11月16日(日)

市男女共同参画イベントがハートピア春江で開かれました。創作紙芝居や琉球楽団「太陽人」のコンサートなどが行われ、参加した約190人は思いやりのある社会について理解を深めました。紙芝居は、市男女共同参画推進委員会が創作した「ぼてさん」を披露。魚を行銷する働く女性の生き方を通し、身近に根付く男女共同参画の意識を紹介していました。

成人式を最高の思い出に 実行委が大看板制作 11月12日(水)

成人式の準備を進める実行委員会は、当日会場に掲げる大看板を制作しています。委員会では、『夢や希望のある七色の未来』に向かって成人として大きく羽ばたくことを誓おうと、式のテーマを「虹」に決定。式典企画の一つとして、虹を表現した看板2枚を描くことに。制作する委員たちは、再会する同窓生の笑顔を思い浮かべ、熱心に取り組んでいました。



▲「みんなに楽しかったと言われる成人式にしたい」と話す西端美咲副実行委員長(写真左)



▲悲壮感や憎々しさなど、子供とは思えないほどの表現力で観客を魅了した「豆役者」たち

初の“ガールズ歌舞伎” あだ討ち劇を熟演 11月8日(土)

まるおか子供歌舞伎第8回公演が、磯部小学校旧旧体育館で行われ、昼夜2回の公演に座りきれないほどの観客が訪れました。華やかな舞踊に続いて披露された歌舞伎の演目は、女忠臣蔵とも言われる「加賀見山田錦絵」。お家騒動が発端のあだ討ち劇を、女児ばかりの“豆役者”が熟演。大人顔負けの演技や言い回しに、万雷の拍手がわき起こっていました。

小説「絹扇」が劇に！ 春江大好きPが3月に上演 11月25日(火)

春江町の市民グループ「春江大好きプロジェクト」は、本県出身で芥川賞作家・津村節子氏の春江を舞台にした小説「絹扇」の劇を、来年3月にハートピア春江で上演します。同グループは、春江ちりめん全盛時代を描いた絹扇を、春江の地で地元の人が演じることを計画。9月から練習を開始し、現在、立ち回りを行うなど熱心に練習を重ねています。



▲春江が輝いていた一時代を舞台上で再現しようと練習する出演者

大関駅をイルミネーション 幻想的な雰囲気に 11月23日(日・祝) ～1月中旬

えちぜん鉄道大関駅がイルミネーションで彩られ、乗降客らに癒やしの空間を提供しています。イルミネーションは、大関まちづくり協議会と大関セーフティパトロール隊、えちぜん鉄道大関駅サポーターズクラブが地域の活性化につなげたいと実施。発光ダイオード約2000個を使い、駅と駐輪場横の木などに設置しました。電飾は17時から終電まで点灯。



▲青色の光が癒やしの空間を演出。また、大関友遊館でもイルミネーションを実施中

まちの話題が満載の「フォーカス」は、市のホームページ(☑<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>)からもご覧いただけます。ホームページでは“ホット”な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。



▲国道364号沿いの広場に植樹する協議会のメンバー

竹田地区全域を しだれ桜の里に 11月24日(月・振休)

竹田の里づくり協議会は、竹田地区を「しだれ桜の里」にしようと、シダレザクラ6本の植樹と地区内の家庭25世帯に苗木60本の配布を行いました。同協議会は、4月にたけくらべ広場にあるシダレザクラをライトアップし、観光の新名所としてPRしています。今回は、そのエリアを広げるために、両事業が展開されました。



▶講演する全国北前船研究会の小嶋豊治会長

▲フォーラムはみくに文化未来館で開催され、約100人が参加

歴史を学び、まちづくりに フォーラムを開催 11月30日(日)

みくに地区まちづくり協議会は、北前船で栄えた三国湊の歴史を学び、まちづくりにつなげようと、まちづくりフォーラム「みなと三国と北前船」を開催しました。歴史研究家などが、北前船に関する研究内容や北前船をキーワードに地域活性化を目指す全国の事例などを説明。また、復元千石船の帆の一部が初公開されるなど、多彩な催しが行われました。

鎌倉時代後期の厨子 修復され、一般公開 11月19日(水)

大善寺(坂井町下兵庫)の厨子と本尊・十一面観音が、元興寺文化財研究所での修復・調査を終え、同寺で公開されました。寺では2010年に開創千年を迎えることから、同研究所に厨子と本尊の修復・調査を依頼。調査の結果、厨子の扉絵は14世紀ごろに奈良の興福寺配下の絵師によって描かれ、本尊には胎内仏(初期本尊の頭部)が納められていました。



▲「絵は素晴らしいもの。住職や檀家が大切に守ってきたおかげ」と話す同研究所の高橋平明主任研究員(写真左から2人目)

子供たちに感動を 春江中部まち協がコンサート 11月22日(土)

春江中部まちづくり協議会は、全国で活躍中の歌手・梅原司平さんを招いてコンサートを開きました。“住みたくなる優しいまち”を作るために家族や地域のきずなを深めようと企画。会場となったハートピア春江には家族連れなど約600人が訪れ、命や希望、無条件の愛などをテーマにした歌の数々を堪能。笑いあり涙ありの心温まる時間を共有していました。



▲春江中学校合唱部など市民合唱団とも共演し、優しい歌声を響かせたコンサート



▲教室は寒くなり家にいる時間が増えるこの時期をねらって開催

悪質商法にご用心 高齢者向け教室を集中開催 11月17日(月) ～21日(金)

市消費者センターは、高齢者が悪質商法の被害に遭わないようにしようと、消費者トラブル防止教室をいきいきサロンセンター「あい愛」で開催しました。教室は、県消費生活センターの消費生活相談員ら専門の講師を招き、1週間集中して実施。期間中、センター利用者約100人が参加し、悪質商法の手口や被害に遭わないための対策などを学んでいました。



▲会議の前に、坂本市長は「市民が納得できる行政改革を目指していきたいので、活発な議論をお願いしたい」とあいさつ

市民が納得できる行政改革を 第2期推進協議会が発足 11月20日(木)

第1回市行政改革推進協議会が市役所で開かれました。市は「行政改革大綱」を策定、大綱に掲げた目標に向けて具体的に取り組む「坂井市100の改革」を定め、行政改革を進めています。同委員会は、市の取り組みに対し、意見や評価、監視を行う機関。委員は11人で、任期は2年。初会議では、現在の行革状況の報告などが行われました。

市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。

ふるさと納税で15件のご支援

ふるさと納税がスタートし、本市には「ふるさとを応援したい」という皆さんから、寄付が寄せられています。10月末現在、寄付の状況は次のとおりです。

件数 15件
総額 104万1500円

これまでに10万円以上の寄付してくださった人は次のとおり。(敬称略)

匿名(兵庫県) 50万円
吉形明美(東京都) 12万円
佐々木孝行(東京都) 10万円
小見山大(東京都) 10万円

※寄付の状況は、今後、毎月掲載していきます

企画課 ☎503013

全国植樹祭 苗木は児童が種から

樹祭に使う苗木は、県のスクールステイ事業として、18年度から育てられたものです。本市では長畝小学校が同事業の対象校となり、児童が野山でクヌギやコナラの種を集め、ポットに植え、大切に育ててきました。

育った苗木は、式典会場や地域会場へたくらば広場と龍ヶ鼻ダム周辺に植樹します。

▲長畝小では約300本を栽培

農林水産課 ☎503150

高校などに進学する人を対象に 21年度奨学生を募集

●問い合わせ 教育総務課 ☎50-3160 または各中学校
※両制度の申請書は、中学校にあります

家 庭の経済的理由から学費にお困りと思われる方に、奨学金の貸与を行います。

■市の制度

対象 本人または保護者が市内在住で、21年4月に高等学校、高等専門学校、専修学校(高等・専門課程)に進学し、他の奨学金を受けていない人

募集人員 若干名

貸与額 年額20万円以内

貸与期間 各校の正規修学期間

返済方法 貸与終了後10年以内に返済(無利子)

申込方法 申請書に家庭の所得証明書を付けて、在学している中学校へ提出

申込期間 1月6日(火)～3月19日(木)

■県の制度

対象 県内に在住している人のお子さんで、中学校3年に在学し、21年4月に高校か高等専門学校へ進学し、他の奨学金を受けていない人

採用予定人数 50人程度

自宅通学者		自宅外通学者	
国公立	年額21万6,000円 (月1万8,000円)	国公立	年額27万6,000円 (月2万3,000円)
私立	年額36万円 (月3万円)	私立	年額42万円 (月3万5,000円)

貸与期間 21年4月から標準修業年限以内

返済方法 貸付終了翌月から6カ月経過後、10年以内に返済(無利子)

申込方法 奨学生願書と必要書類を添え、在学している中学校へ提出

申込期間 12月22日(月)まで

健康サポーターのための健康講座を開催

●問い合わせ 健康長寿課 ☎50-3040

昨 年から発足した「健康サポーター」のことを存じですか。市民の皆さんの健康づくりのため活動している「ヘルスボランティア団体」です。今年も健康サポーターになるための健康講座を開催します。

あなたと家族、そして周りの人の健康を守るため、健康づくりについて、もっと学び、一緒に考えてみませんか。

資格 健康に関心のある市民

定員 50人

参加費 無料

申込期間 12月26日(金)まで

ところ 坂井健康センター

申込方法 電話で健康長寿課に申し込み

※申込者には後日、詳しい内容などを案内します

※健康サポーターになった人には、IT活用歩数計を進呈

※講習を受けたことで、健康サポーターになることを義務付けするものではありません

日程と内容

回数	日	内容
1回目	1月24日(土)	身体編
2回目	2月7日(土)	運動編
3回目	2月22日(日)	栄養編
4回目	3月1日(日)	活動編

時間はいずれも10:00～11:30

※日程・内容・会場の変更あり

景観づくり基本計画が完成!

市 民の皆さんの意見をいただきながら、昨年度から策定を進めてきた、景観づくり基本計画が完成しました。計画は、本市の特性を生かした美しいまちの実現を目指す上での総合的な指針。また、市民や事業者などと行政が共に考え、協力し合

いながら市民主役の景観づくりを実践していく上での指針ともなるものです。計画の概要版を全戸配布しますので、ぜひご覧ください。また、詳しい内容は市ホームページでも公開しています。

都市計画課 ☎50-3050
http://www.city.fukui-sakai.jp

市福祉保健総合計画(案)パブリックコメントを募集

●問い合わせ 社会福祉課 ☎50-3041
http://www.city.fukui-sakai.jp/

福 祉保健総合計画の策定に向け、市は皆さんから内容に関するご意見を募集します。この計画は、地域福祉計画、高齢者福祉計画、障がい者計画、健康増進計画、母子保健計画の5つの計画で構成し、市総合計画の基本構想の『誰もが笑顔で暮らせるまちづくり』を実現するためのもの。現在、計画素案を市福祉保健総合計画策定委員会でも内容を検討しています。

いただいた意見の内容はとりまとめをして、同委員会に提出し、計画に反映。また、最終的に決定した市福祉保健総合計画と併せてホームページで公表します。住所、氏名は公表しません。

募集内容 福祉保健総合計画(案)の内容に対する意見

閲覧方法 社会福祉課各総合支所福祉課で閲覧(平日8時30分～17時30分)。市ホームページからも閲覧可

締切 1月8日(木)必着

対象 市民(市外にある施設の入所者を含む)

提出方法 指定用紙に記入し、郵送、持参、電子メールで提出。用紙はホームページからダウンロードできます。住所、氏名を必ず記入してください

提出先 社会福祉課
〒919-0592 坂井町下新庄1-1
fukushi@city.fukui-sakai.jp

FROM 市長

万全の体制で除雪作業に取り組みます

市長定例記者会見が11月10日(月)、市多目的研修会施設で行われ、坂本市長は主に次のように述べました。

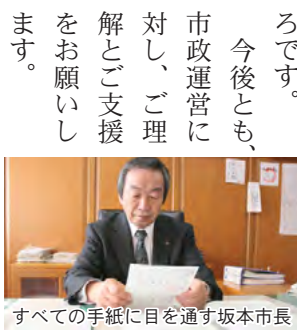
除雪対策本部を設置

12月1日から来年3月15日まで、除雪対策本部を設置。その体制は、次の2点を増強しました。

①除雪トラックを1台増強し、幹線道路の効率的な除雪を行います

②リース車の借入れ台数が、昨年度は10台でしたが、事業者保有の除雪車の減少に伴い、今年度は13台に増強します

また、積雪が10センチを超えてさらに降雪が予想される場合は、幹線路線の除雪。15センチを超えた後も降雪が予想される場合は、その他の路線の除雪も実施するなど、今年度も万全の体制で除雪作業に取り組みたいと考えています。



すべての手紙に目を通す坂本市長

From市長では、市長から市民の皆さんへ市政についてのメッセージをご紹介します。また、定例記者会見の様子は市のホームページからご覧いただけます。

青少年健全育成の意識を高めよう！
推進大会を開催し、育成指導者などを表彰

● 問い合わせ 生涯学習課 ☎50-3162



▽最優秀賞
西長田子ども会(春江町)
千歩寺子ども会(春江町)
木部新保子ども会(坂井町)

【第32回県子ども会壁新聞コンクール入賞作品】

■育成指導者の部
大崎勇(丸岡町舟寄5区)
長船信弘(坂井町木部東)
笠川房子(丸岡町西屋1の3)
北島浩美(春江町正善)
酒井富子(丸岡町北横地2区)
高山幸子(春江町江留中)
田川正勝(坂井町宮領)
谷川和美(坂井町朝日住宅)
藤倉和俊(三國町運動公園)
森本慶子(春江町春日野)

【20年度青少年育成坂井市民会議会長賞】

開かれました。
大会には、約250人が出席。青少年育成に活躍する指導者の表彰や、子ども会壁新聞コンクールの表彰などが行われました。
大会で表彰されたのは次の皆さんです。(敬称略)
▽努力賞
覚善子ども会(三國町)
池見子ども会(三國町)
安島子ども会(三國町)
浜地子ども会(三國町)
蛸子ども会(坂井町)
上金屋子ども会(丸岡町)
台子ども会(三國町)

青

少年健全育成推進大会が11月29日(土)、ハートピア春江で開かれました。

※推進大会では、第3回市子ども会壁新聞コンクールの表彰式も行われました。同コンクールの審査結果は、広報さかい10月号17ページに掲載



▲県子ども会壁新聞コンクールの最優秀を受賞し、伝達表彰される西長田子ども会

▽優秀賞
汐見子ども会(三國町)
玉井子ども会(三國町)
新鳴鹿2丁目子ども会(丸岡町)
乗兼子ども会(丸岡町)

動き出したまちづくり協議会

事業展開中の会長にズバリ聞く!! 15

全員参加でまちづくり笑顔あふれる浜四郷 浜四郷地区まちづくり協議会(4月15日発足)

今回は「浜四郷地区まちづくり協議会」について、会長から伺いました。
まちづくり協議会発足前に実施した住民アンケートを参考に、協議会ではできることから取り組んでいます。
■三世代交流を促進
ソフトボール・ミニバレーボール大会、サマーフェスタを開催。協議会では、まず地区住民同士が触れ合える機会を作ろうと、一人でも多くの人と交流できる事業を行っています。
現在、三世代交流活動も計画。子供と大人との交流、特に高齢者と新しい世代との交流を図っていききたいと考えています。



多くの住民が参加し、交流を深めたミニバレーボール大会

■安心安全なまちづくり
また、災害時の体制作りと、交通安全の確保を目指しています。普通救命講習会や地震体験車による地区住民の体験などを計画。すべての人が安心して暮らせるよう、安心安全なまちづくりに取り組んでいます。
■一人でも多くの参加を
協議会では、あれもしたい、これもしたいと意見を出し合い、限られた予算の中で事業を計画しています。
今後は、一人でも多くの人にまちづくり協議会の活動について、認知度を高めたいと考えています。



たかし たてお 高島 建夫 会長
【浜四郷地区の紹介】
三里浜砂丘地が広がり、多くの作物が栽培され、一大畑作地となっています。また、砂丘地海岸沿いに福井臨海工業地帯が造成され、多くの企業が進出しています。

【すでに年金天引きされている世帯】
前年の所得が確定するまでは、21年2月に年金天引きされた金額と同じ額が、年金から天引きされます。
【21年4月以降に新たに年金天引きとなる世帯】
前年の所得が確定するまでは、20年度の保険料額のおよそ1/6～1/4の額が、年金から天引きされます。
※仮徴収額は、特別徴収開始月にお知らせします

今一度、ご確認ください！
21年度の国民健康保険税の納付方法

● 問い合わせ 課税課 ☎50-3023

納期

【普通徴収の場合】							
第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
7月31日	8月31日	9月30日	11月2日	11月30日	12月25日	2月1日	3月1日

【特別徴収】

仮徴収			本徴収		
4月15日	6月15日	8月14日	10月15日	12月15日	2月15日

【すでに年金天引きされている世帯】
前年の所得が確定するまでは、21年2月に年金天引きされた金額と同じ額が、年金から天引きされます。
【21年4月以降に新たに年金天引きとなる世帯】
前年の所得が確定するまでは、20年度の保険料額のおよそ1/6～1/4の額が、年金から天引きされます。
※仮徴収額は、特別徴収開始月にお知らせします

国 国民健康保険税の納付方法は、普通徴収(納付書または口座振替と)と、世帯主を含めた国民健康保険の加入者全員が65歳以上75歳未満である世帯を対象とした特別徴収(年金からの天引き)があります。
保険料の額と納付方法については、来年7月中旬に加入世帯にお送りする「21年度国民健康保険納税通知書」でお知らせします。

所 社会保険料控除について
得税と個人住民税の社会保険料控除については、ご自身の社会保険料を支払った場合、または生計を一つにする配偶者や家族の負担すべき社会保険料を支払った場合に、その保険料を支払った人に社会保険料控除が適用されます。
①国民健康保険税が年金から特別徴収されている場合
保険税を支払った人は年金の受給者自身となるため、その年金の受給者である世帯主に社会保険料控除が適用されます。
②口座振替で保険税を支払う場合
口座振替でその保険税を支払った人(口座名義人)に社会保険料控除が適用されます。
特別徴収を普通徴収に変更することができません。
これまで保険税を滞納することなく納付している人は、特別徴収を口座振替による普通徴収に変更することができます。(納付書による納付はできません)
手続き方法
【すでに年金天引きされている世帯の場合】
21年4月からの変更を希望する場合は、1月20日(火)までに変更手続きをしてください。
※20年9月まで保険税を納付書で納付していた人は、預金通帳と通帳の届出印を持参してください。
※21年度内に世帯主が75歳になる(後期高齢者医療保険に移行)世帯は、21年度は普通徴収に切り替わります。
【21年4月以降新たに年金天引きとなる世帯の場合】
年金天引きの対象となる可能性がある人に「特別徴収開始のお知らせ」を、特別徴収開始月の約3カ月前に送付しますので、通知書に記載された期日までに変更手続きをしてください。
手続き場所
課税課または各総合支所税務課

募集
invite information

**三国競艇
パートタイマー従業員**

募集人員	若干名
応募資格	学歴不問。20～55歳(20年4月1日現在)で、本市およびあわら市に居住し、自分で通勤可能な人※学生や他の企業に在籍している人は除く
業務内容	入場業務
勤務期間	20年度三国競艇レース開催日(場外発売日を含む)※パートタイマー登録し、1年ごとに更新
勤務時間	①9:00～17:00(基本勤務時間) ②13:00～21:00(ナイター勤務時間) ③その他、勤務時間変更あり
給与	時給850円
各種保険	労働災害保険、雇用保険
交通費	規定により支給
採用試験	筆記試験・面接
申込方法	12月31日(水)までに、下記へ履歴書送付

③三国競艇場業務課 ☎77-3132
〒913-8533三国町池上80-1

**ピラティス教室
参加者を募集**

芸能界でも愛好者が多い、ピラティス。体の内側にある筋肉を鍛える運動です。

とき 毎週水曜日(月4回)
19:30～20:30
初回は1月7日(水)

ところ 丸岡体育館3階スタジオ

対象 一般女性

定員 20人

受講料 1ヵ月3,000円

持参物 タオル、運動できる服装

③市体育協会(丸岡体育館内)

☎66-8920

**読書感想画展の
作品を募集**

本を読んで、どきどきしたこと、わくわくしたことを書いて、応募してください。

募集期間 12月28日(日)まで

対象 幼児から中学生まで

内容 読んだ本の印象的・感動的な場面を描いた絵

用紙 四つ切り程度の画用紙

画材 絵の具、クレヨン、マジックなど

展示期間 1月22日(木)

～25日(日)

展示場所 ハートピア春江

展示交流ホール

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

③はるえ図書館 ☎51-8810

開催
event information

仕事の悩みに応じます

学生、離職者、フリーター、派遣社員、正社員などあらゆる人の仕事に関する相談に、専門カウンセラーが応じます。

とき 1月22日(木)
13:00～17:00

ところ 高椋公民館

対象 おおむね15～34歳で、仕事の悩みを持つ人

※本人の了承で家族同伴も可

申込方法 開催日の3日前までに、下記まで申し込み

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

☎syoukou@city.fukui-sakai.lg.jp

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

③商工課 ☎50-3153 ☎68-0440

**お話し会スペシャル
人形劇を開催**

「サークル赤ずきん」による、手作りの人形劇をします。

とき 12月13日(土)14:00～

ところ みくに図書館

内容 ジャックと豆の木

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

③みくに図書館 ☎81-2900

消防出初め式を開催

嶺北消防組合では出初め式を開催します。

屋外式典では、消防車両60台による分列行進や一斉放水、太鼓隊の演奏、越前三國鷹隊による演技などが行われます。ぜひご観覧ください。

とき 1月10日(土)
屋内式典 9:30～10:45
屋外式典 10:45～12:00

ところ 丸岡体育館と霞ヶ城ふれあい広場

また、会場周辺の道路が一部通行止め、片側交互通行となります。ご協力をお願いします。

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

③嶺北消防本部消防課

**普通救命講習会
参加者を募集**

AED(自動体外式除細動器)の使用方法を含めた成人に対する心肺蘇生法と止血法が学べます。修了証交付あり。

とき 12月28日(日)
9:00～12:00

ところ 嶺北丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

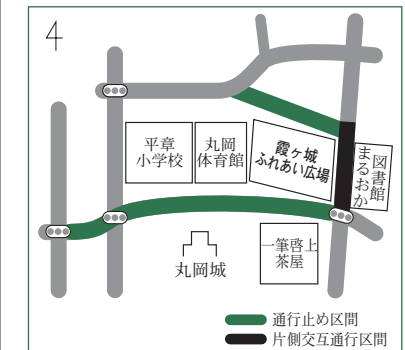
③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署

③丸岡消防署



**食卓にもう一品! 食生活改善推進員の
かんたん料理レシピ**

かんたん白あえ



三国地区食生活改善推進員
栄養成分/1人分
エネルギー 80.5kcal
タンパク質 5.1g
脂質 3.1g
カルシウム 122.7mg
材料/4人分
木綿豆腐 1丁
ひじき 5g
A(ニンジン(せん切り) 50g
しんじょう(3～4等) 1/4束
里芋(いちよう切り) 2個
調味料
しょうゆ 小さじ1
砂糖 小さじ2
みそ 小さじ1・1/2
すりゴマ 大さじ2

- 作り方 ① 木綿豆腐は、湯通ししてふきんに包み、固く絞って冷ましておく。ひじきは戻しておく。
② Aの材料は、塩少々でゆでて、水に通し固く絞る。
③ 里芋は、ゆでた後、水でぬめりをとっておく。
④ ①とすりゴマを、木しゃもじで良く混ぜ、ひじき・ニンジン・水菜・調味料を入れて最後に、里芋をいれる。

伝承料理を手軽につくりましょう

地元の豊かな食材を使って、親から子へと伝承された郷土料理を簡単にアレンジして作ってみました。ひじきを入れることで、カルシウムも供給されます。今日の食卓に、ぜひどうぞ。

③健康長寿課 ☎50-3040

お知らせ

information

21年度償却資産を
申告してください

償却資産(土地、家屋以外の事業用資産)を所有する法人または個人事業者は、21年1月1日現在の所有状況を市に申告してください。申告された資産は、土地、家屋と合わせて、固定資産税として課税します。

償却資産の種類 構築物、機械と装置、船舶、航空機、車両と運搬具、工具・器具と備品

申告内容 【前年度に申告している場合】20年1月2日から21年1月1日までの間の増減資産を申告

【新規に申告される場合】21年1月1日現在で所有の全資産を申告

提出先 2月2日(月)までに、下記または各総合支所税務課へ提出。また、郵送でも受け付けています※郵送の場合は、円滑な事務処理のため、早めの提出をお願いします

●課税課固定資産税係 ☎50-3023
〒919-0592坂井町下新庄1-1

建物滅失届の
提出は忘れなく！

20年中に建物(車庫や物置を含む)を取り壊した人は、滅失届を提出してください。

届け出を忘れると、引き続き固定資産税が課せられる場合があります。

また、店舗を住宅に変更したなど、家屋の用途変更も届けてください。

提出先 課税課または各総合支所税務課
●課税課 ☎50-3023

人権擁護委員に
ご相談ください

10月1日付で、次の皆さんが人権擁護委員に委嘱されました。(現在、人権擁護委員は15人) 人権問題で困っている人は、毎月開催される人権相談日などを利用して、気軽にご相談ください。

氏名	住所
増澤恵美子	三国町下野46-8-1
小寺賢春	三国町南本町二丁目3-59
魚谷敏明	三国町新保8-2
虎尾誠治	坂井町西20-20
半田とみ子	坂井町下兵庫92-21

●社会福祉課 ☎50-3041

油流出による
水質事故をなくそう

河川への油の流出事故が多発しています。川の水が汚染されると、魚をはじめとする水生生物に影響があるほか、農業や工業、水道などの川の水を利用する多くの人に迷惑がかかります。水質事故防止のため、次のことに注意してください。

- ・油を側溝、水路、河川に捨てない
- ・燃料の給油中はその場を離れない
- ・燃料機器や配管などの点検を定期的に行う

油が流出した際の回収、処理には多額の費用がかかり、その費用は油を流した人の負担となります。

万一、油が側溝や水路に流れた場合、早期対応が重要です。速やかに下記へご連絡ください。

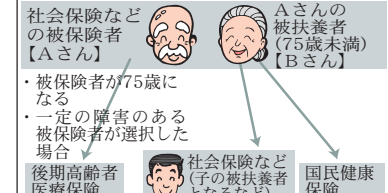
●環境衛生課 ☎50-3032
各総合支所市民課
三国 ☎82-8902 丸岡 ☎68-0804
春江 ☎51-9403 坂井 ☎50-3062
坂井健康福祉センター ☎73-0601
三国土木事務所 ☎82-1111
福井河川国道事務所 ☎35-2661
またはお近くの消防署、警察署まで

後期高齢者医療保険
からの大切なお知らせ

後期高齢者医療保険には、75歳以上の人と一定の障害のある人(任意加入)が加入することになります。

後期高齢者医療保険の加入前に、社会保険などの被保険者本人(Aさん)だった人で、その人に被扶養者(Bさん)がいた場合には、Bさんは保険の切り替えが必要です。

加入手続きがまだの人は、無保険になる恐れがありますので、手続きをお願いします。



【国民健康保険へ加入する人】

今までどおりに社会保険などに加入できない被扶養者は、市国民健康保険へ加入することになります。市国民健康保険に加入する場合は、各総合支所市民課で手続きをお願いします。

手続きに必要なもの 印鑑、加入していた社会保険などが確認できる物、本人確認ができる物

●保険年金課 ☎50-3031

1月10日は
「110番の日」

「緊急時 あなたを守る 110番」相談は「安心ダイヤル #9110」です。目的に合った電話番号をお使いください。

また、要望や問い合わせは、下記の番号をご利用ください。

●坂井警察署 ☎66-0110
坂井西警察署 ☎82-0110

来年7月は農業委員選挙です
農業委員会委員選挙権のある人は申請を

農業委員の選挙人名簿は、毎年1月1日現在で作成されます。

選挙権を有する人は、21年1月1日現在の状況で登録申請書の記載内容を確認し、申請してください。

申請期間 1月9日(金)まで
※申請により、選挙人名簿に登録されます

申請先 市農業委員会事務局

市内に住所があり、満20歳以上(平成元年4月1日以前に生まれた人)で、次のいずれかの要件に該当する人
①農地10%以上の耕作の業務を営む人
②①の同居の親族または配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事している人
③10%以上の面積の農地で、耕作の業務を営む農業生産法人の組合員または社員(その耕作の業務に年間おおむね60日以上従事している人)

●市農業委員会事務局 ☎50-3151 (坂井健康センター2階)
または市選挙管理委員会 ☎50-3015 (市役所本庁2階)

自衛官募集に関する
適齢者の情報について

自衛隊法などにより、毎年、自衛隊入隊適齢者の情報(住所、氏名など)を自衛隊に提供しています。

この情報提供を望まない適齢者については、提供しないこととしますので、1月15日(木)までにご連絡ください。

適齢者 平成3年4月2日～4年4月1日生まれの人

●総務課 ☎50-3010

工業統計にご協力を

平成20年工業統計調査を12月31日現在で行います。

調査は、全国の製造業事業所の1年間の生産活動の実態を、産業別・規模別・地域別に明らかにすることを目的に実施します。

今年は、すべての製造業を営む事業所の皆さんに調査票を記入していただきますので、ご協力をお願いします。

調査内容 事業所の従業者数や1年間の生産活動に伴う製造品出荷額、原材料使用額など

調査期間 12月中旬から1月にかけて、調査員が対象事業所に調査票の記入依頼と回収に伺います

※調査員は必ず調査員証を携行
●情報政策課 ☎50-3014

リサイクル

recycle information

綿(打ち直し済)、小型冷蔵庫、ベビー服(女子用、0歳用)、学習机、犬小屋(プラスチック製、Lサイズ)、木製の細長い棚2つ、ファンヒーター、石油ストーブ、除湿機、籐のテーブル(4人用、いす付)、電子オルガン

LP・SPレコード(レコード盤なら何でも)、鉄瓶(さび止めなし)、大人用自転車、磯部小学校制服(女子)、マレットゴルフのスティック・ボール一式、チャイルドシート、一輪車(子供用)、つづみ、足踏みミシン(シンガー製の黒色)、中型テレビ(20型以上、DVD付)、冬山登山用アイゼン、婦人用自転車(24型)、子供用自転車(女子用、小3～5用)、ダイニングテーブル(6人用)、小型耕運機(家庭菜園用)、電動自転車、湯たんぼ(乳幼児用)、トースター、子供用三輪車、5型または8型フロップ、デジタルピアノ、ポータブルトイレ(和式トイレ据置)、テレビ(20型、ブラウン管)、チャイルドベスト、ベビーベッド、ロッカー(鉄製、三連)、ランドセルのカバー(男子用、ふたを取り付けるタイプ)

申込方法 電話で下記まで
※無償の品物のみ取り扱います
※掲載期間は6カ月

●市民生活課 ☎50-3030

3月分の
体育施設利用抽選会

とき 1月13日(火)
※詳しい時間は右表
一般予約は2月2日(月)9時から受け付けを開始します。

使用施設	使用時間	抽選会場	時間	施設(一般予約含む)の問い合わせ先	問い合わせ先	
三国町内体育施設	夜間	三国運動公園健康管理センター	19:30～	三国運動公園管理事務所 ☎82-5580		
春江町内体育施設	日中 夜間	春江体育館	19:30～	春江体育館 ☎51-4242	スポーツ課 ☎50-3163	
坂井町内体育施設	夜間	市多目的研修集会施設	19:30～	坂井武道館 ☎67-0610 または スポーツ課 ☎50-3163		
丸岡町内体育施設	日中	丸岡体育館	丸岡屋内球技練習場利用団体(登録団体のみ)	18:00～	丸岡体育館 ☎66-8920	(財)坂井市体育協会 ☎66-8920
			越前丸岡古城ドーム利用団体	18:30～19:00	※丸岡運動公園全施設の予約・問い合わせは越前丸岡古城ドームで受けます 越前丸岡古城ドーム ☎68-0390	
		登録団体 登録団体以外(個人を含む)	19:30～			

お知らせ

年始について
 まるおか図書館が1月5日(月)から、みくに・はるえ・さかい図書館は6日(火)から開館します。

みんなの本棚

みくに図書館	紙芝居とお話し会(サークル赤ずきん)	1月17日(土)14:00~
まるおか図書館	おはなしエプロン	1月10日(土)11:00~
	わくわくおはなし会	1月17日(土)11:00~
はるえ図書館	まじょさんのおはなし会	1月10日(土)11:00~
	おはなし会	1月18日(日)11:00~
	おはなしでてこい~あいうえお話し会~	1月24日(土)11:00~
	なんのはなしかな	1月25日(日)11:00~
さかい図書館	わいわいおはなしランド	1月10日(土)11:00~
	仁愛・おはなしおねえさん	1月17日(土)11:00~
	おはなし♪どんぶらっこ	1月24日(土)11:00~
	としょかんおはなし会	1月31日(土)11:00~

※詳しくは各図書館まで

定期イベント

INFO

新着&オススメ図書

※4館どこでも借りられますので、お問い合わせください。

一般書

ADHDのび太・ジャイアン症候群	司馬 理英子
建築家安藤忠雄	安藤 忠雄
男よりテレビ、女よりテレビ	小倉 千加子
お金のかからない家族サービス	B.P.スタイル/編集
親が子どもを本嫌いにする	嶋路 和夫
私の好きな日本人	石原 慎太郎
「国連」という錯覚	内海 善雄
おひとりさまの「法律」	中澤まゆみ・小西輝子
いいかげんがいい	鎌田 実
正義で地球は救えない	池田清彦・養老孟司

小説

謎手本忠臣蔵 上・下	加藤 廣
粗茶を一服 損料屋喜八郎始末控え	山本 一力
ガーゴイル	アンドリュー・デビッドソン
どこから行っても遠い町	川上 弘美
イノセント・ゲリラの祝祭	海堂 尊
白雨	北原 亜以子
恋愛嫌い	平 安寿子
元職員	吉田 修一
彼女について	よしもとばなな

児童書

あたらしいともだち	トミー・ウンゲラー
ありのフェルダ	オンドジェイ・セコラ
前略、がんばっているみんなへ	北島 康介
病気の魔女と薬の魔女	岡田 晴恵

BOOK

お知らせ

みんなの本棚

定期イベント

**守ってください！
せきエチケット**

- せき、くしゃみの際はティッシュなどで鼻と口を覆い、他の人から顔をそむけ、1~2m以上離れましょう。
- 鼻汁・たんなどを含んだティッシュを、すぐにふた付のごみ箱に捨てられるように環境を整えましょう。

- ◆インフルエンザ予防のためにできること
- ◆十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。
- ◆ワクチン接種は予防に有効といわれています。医療機関に相談しましょう。

マスク、手洗い、うがいが基本です。インフルエンザは、普通の風邪よりも感染力が強いといわれ、11月ごろから始まり、特に1~2月が流行のピークになります。マスク着用、手洗い、うがいを正しく十分に行いましょう。また、人ごみや繁華街への外出もできるだけ避けましょう。マスク着用で感染を予防

- ・熱、せきなどの症状ある人には、必ずマスクを着けてもらいましょう。症状がある人と接するときは、自分もマスクを着けるよう心掛けましょう。
- ・マスクは1日1枚の使い捨てにしましょう。

うがいで感染の抵抗力をUP

- ・うがいはのどの乾燥を防ぎ、感染の抵抗力を高めます。
- ・外出後や、のどに不快感や炎症があるときはうがいをしましょう。
- ・「あ」と「お」の口を交互に動かすと、のどの広い範囲をきれいにすることができま。

手洗いはすぐにできる予防策

- ・外出した後は、必ず水とせっけんを使って15秒以上手を洗いましょう。
- ・マスクをはずした後、せきやくしゃみのときに口を手で押さえた後、鼻をかんだ後は特にすぐに手を洗きましょう。
- ・手を洗った後は、個人用のタオルで水分を十分にふき取りましょう。

**感染しない・させないための
インフルエンザ予防**



**子育て支援センターからの
お知らせ**



子育て支援センターは、子育てしている人が気軽に遊びに来たり、おしゃべりしたりできる広場です。子育てをされていて困っていること、悩んでいること、気掛かりなことなど、一人で悩まないでご相談ください。(秘密は厳守) また、保健師と栄養士による相談日を設けていますので、ご利用ください。

子育てのポイント

してよいこと、悪いことは教えていきたいものですが、ただ「ダメ」を繰り返しても空回りしがちです。子供のしつけは意欲をつぶさないのがカギです。

【Oしてほしいこと】

- ・親が手本になる
- ・やってみたくなるように楽しく
- ・少しでもできたらほめる

【×してほしくないこと】

- ・できない環境にする
- ・その場で短く言いかせる
- ・気持ちは受け止め、行為は止める

支援センター利用のご案内

支援センター名	センターの利用時間	相談時間
三国丸岡春江坂井	9:00~15:00 (月~金曜日)	8:30~17:15 (月~金曜日)

保健師・栄養士の相談日

とき	ところ
1月14日(水)10:30~11:30	坂井子育て支援センター
1月21日(水)10:30~11:30	三国子育て支援センター
1月22日(木)10:30~11:30	春江みどり保育園
1月28日(水)10:30~11:30	丸岡子育て支援センター

問い合わせ先

三国子育て支援センター ☎81-6550
 丸岡子育て支援センター ☎67-4157
 春江子育て支援センター ☎51-9644
 (春江北保育所内)
 坂井子育て支援センター ☎68-4188

※詳しくは各支援センターへお問い合わせください

健康カレンダー

1月のご案内

マミー教室(妊婦教室)

妊娠5カ月以降のお母さんが対象です。予約が必要。希望する人は電話でお申し込みください。(託児あり)
 と き 1月25日(日) 受付10:00~
 ところ 三国社会福祉センター

集団接種【ポリオ投与】

生後3カ月以上7歳6カ月未満で、まだ接種していない人が対象です。
 と き 1月20日(火) 受付13:30~14:30
 ところ 春江保健センター

健康づくりグループ活動

市では、健康づくりのため、自主グループ活動を応援しています。会員は随時募集。詳細は、健康長寿課まで。

グループ活動の日程		
さわやか教室	とき	1月7.14.21.28日(水)13:30~15:00
	ところ	三国体育館
ウォーキングクラブ	とき	1月9.16.30日(金)9:30~11:00
	ところ	春江保健センター
はつらつミセスの会	とき	1月13日(火)9:30~11:00
	ところ	坂井健康センター
健康体操の会	とき	1月7.14.21.28日(水)13:30~15:00
	ところ	坂井健康センター
るんるんダンベルの会	とき	1月19.26日(月)9:30~11:00
	ところ	坂井健康センター
		※内容によって場所の変更あり
筋力アップの会	とき	1月8.22日(木)10:00~11:00
	ところ	坂井健康センター

問い合わせ先 健康長寿課(坂井健康センター内) ☎50-3040 ☎50-3067

今月の
ハッピー
バースデー



いつもだいすきなんしゃを
みるよ♡
西村 研人ちゃん
(2歳・春江町西太郎丸)
父: 義二さん 母: 智巳さん



おどりが大好き♡
音楽がなると上手におどるよ!
伊藤 愛里ちゃん
(2歳・坂井町下新庄)
父: 敏浩さん 母: 亜弓さん



とんこつは食べたい
やんちゃでイタズラ大好き♡
仲谷 樹ちゃん
(1歳・三国町下野)
父: 和治さん 母: 菜穂美さん



ゴーオンジャー大好き!
3歳になつたよ〜
小北 祥斗ちゃん
(3歳・丸岡町四ツ柳)
父: 穂己さん 母: 智晶さん



食べるのが一番大好きなわたし
早くまんまちょうだい!!
西出 そらちゃん
(1歳・丸岡町城北4区)
父: 智一さん 母: ゆみさん



おしいちゃん、おはあちゃん
また遊んでね。
山田 珠夕ちゃん
(1歳・丸岡町板倉)
父: 源信さん 母: 瑞穂さん

「みんなの掲示板」今月のハッピーバースデー掲載希望者を募集

締め切りは、掲載希望月の前月5日まで。希望者多数の場合は、掲載できない場合があります。詳しくは秘書広報課まで。

☎秘書広報課 50-3012

【今月の表紙】●舞台の感動をこれからも



毎年、市内外の歌舞伎ファンを魅了するまるおか子供歌舞伎。本番までの長丁場を乗り越え、迫真の演技を披露する。ここでしか見られない感動の舞台は、地域の誇りとなって受け継がれている。(まるおか子供歌舞伎)

おせち二重 新年会 御予約 配達・受渡し 12月25日迄 12月31日夕方 限定30組

柳料理半兵衛 丸岡町南横地 電話(0776)66-2239

お歳暮、贈り物 ご予約承ります。 本物を、召し上げれ... 東尋坊 やまに水産 皇室献上がに 宮内庁御用達 坂井市三国町東尋坊 TEL:81-3420 FAX:82-6207 年末年始も休まず営業しています。

おくやみ

10月21日から11月20日
までの届け分(敬称略)

名前	年齢	行政区
三国町		
矢原 慶子	49	横越
内田 初枝	88	四日市
藤嶋 とめを	93	西滝谷
免取 禮子	80	宿
平田 勘左エ門	85	陣ヶ岡
村中 強	72	温泉
南出 笑子	73	野中
森安 リヨ子	96	新保
長谷川 一雄	66	宿
林田 義一	71	浜滝谷
濱端 末一	94	温泉
村内 吉男	57	温泉
由中 とく	99	橋本
藤嶋 静子	79	つつじが丘
誉田 龍蔵	77	上緑
丸岡町		
中嶋 明	90	石上
笠原 ツ子ヲ	91	荒町
岡倉 ナツヲ	87	田町
新井 利子	73	愛宕
谷川 ハルノ	84	舟寄5区
渡辺 貞子	79	猪爪
西出 厚	96	上安田
伊藤 スサヲ	98	長寿園
宮崎 建二	75	西瓜屋2区
笠松 芳功	69	グリーン栄
恩地 善信	71	舟寄3区
吉川 静子	95	下安田
中野 りお	93	末政
大西 末太郎	89	北横地2区
寺嶋 サタ子	95	城南
正藤 サナエ	60	南横地2区

名前	年齢	行政区
丸岡町		
安原 美代子	91	篠岡
鱈淵 鈴子	91	城南
酒井 ヒメ子	96	八ヶ郷
大田 栄一	67	儀間
朝日 裕	98	四ツ柳
春江町		
二ツ橋 賢二	70	辻
北嶋 智江子	79	西長田
由谷 邦夫	55	境元町
齊藤 志け子	90	江留上新町
渡辺 吉雄	84	中筋北浦北
川端 和子	55	江留上大和
辻井 康一	80	針原平柳
梅澤 まさ江	81	いちい野中央
加藤 齊	92	針原平柳
石黒 トヨ子	76	西長田
松田 エミ	78	いちい野
高橋 一枝好	89	西長田
藤川 和好	75	江留上錦
西畑 忠司	67	江留上昭和
寺井 幸二	59	中庄
五十嵐 邦夫	74	中筋
坂井町		
田中 佑佳	23	上兵庫
小嶋 文子	84	関中
森瀬 キミイ	72	下兵庫
国永 美智代	49	上兵庫
糸本 ふさこ	88	福島
井端 忠雄	72	駅前
高見 博	71	福島

名前はすべて人名用漢字および常用漢字で表記しています。

市の
すがた

人口	95,227人(+ 56, - 129人)
男	46,235人(+ 31, + 5人)
女	48,992人(+ 25, - 134人)
世帯数	29,471戸(+ 61, + 208戸)

11月1日現在
※()内は前月比、前年比

年越しそばは
一筆啓上茶屋で

年末、「そば処一筆啓上」は下記のとおり営業しています。ぜひご利用ください。

営業日時 12月30日(火) 10:00~17:00
12月31日(水) 17:00~20:00

※1月1日(木・祝)、2日(金)は休み。3日(土)より初売り
また、年越しそば(一人前280円)のご予約も12月25日(火)まで受け付けています。

詳しくは下記まで
☎そば処一筆啓上 ☎67-1775

パソコン入門講座
受講生を募集

パソコンの基礎知識、ワード(文書作成)、エクセル(表計算)、インターネット、メール、年賀状作成、デジタルカメラからの取り込みなど、日常生活に役立つ操作を指導します。

とき 毎週月・水・金曜日 13:00~16:00
毎週火・木曜日 18:30~20:30

ところ 高松公民館
受講料 月3,000円(教材費別途必要:1,000円)
※3カ月分前納

定員 20人
☎NPO法人いきいきITクラブ ☎66-0876

外国人と外国人に関する
無料相談会

外国人の在留資格、資格変更・更新、ビザ、留学、雇用、結婚、帰化などの相談に、県行政書士会国際部の専門家が応じます。事前予約は不要。

※通訳が必要な人は原則1週間前までにご連絡ください(通訳者:インターナショナルさかいメンバー(英語、中国語に対応))

とき 1月11日(日) 13:00~16:00

ところ 春江中公民館
対象 本市や近郊に住む外国人と外国人に関する人

☎インターナショナルさかい 中村 ☎51-0434
✉tednaka@mx2.fctv.ne.jp

ボランティアメンバー
を募集

不幸な犬や猫を救うために、一緒に活動してくれる人を募集しています。保護した犬や猫を一時預かりができる人を、特に切望しています。

興味のある人は、ぜひお電話ください。
また、チャリティーバザー用品のご支援をお願いしています。ご連絡くだされば、取りに伺います。

☎福井犬・猫を救う会 代表 藤永 ☎090-5684-8442

みんなの掲示板
The bulletin board of all

市民の活動を応援するコーナーです。

親雪遊雪(学童交流)事業
参加者を募集

小学生の皆さん、たけだじょんころ雪まつりの親雪遊雪(学童交流)事業に参加しませんか。

この事業は、竹田小学校の児童と参加者が一緒に、雪に親しみ、雪の“あったかさ”、幻想的な美しさを体験するものです。そば券とお土産付きです。

とき 2月1日(日) 13:30~18:30(16:30以降は自由参加)

※現地集合、現地解散
ところ 竹田小学校
対象 小学生(原則として高学年)とその保護者

参加費 無料
募集期間 12月19日(金)まで
☎竹田の里づくり協議会 (竹田公民館内) ☎67-2543

英語サークル
会員を募集

コース	とき
英検等コース	毎週水曜日 19:00~21:00
会話コース(外国人講師)	毎週木曜日 19:00~21:00

ところ 春江町内の施設
詳細は下記まで。
☎長田 ☎51-4742

重森経営会計事務所

税理士 重森 宣彦

相続などの税務・農業法人の会計など、ご相談ください

(事務所) 福井市大宮6丁目16-9
☎(0776)25-0128
(自宅) 坂井市坂井町蛸7-6

『職人の店』

仏壇・仏具製造販売

畑兄弟仏壇店

◆春江店 〒919-0417 坂井市春江町下相田(空港道路沿い) TEL(0776)51-2740
◆針原店(夜間) 〒919-0476 坂井市春江町針原24-7 TEL(0776)51-1131

年末年始のご案内

詳しくは各施設にお問い合わせください

市役所・保健センターなど

文化施設

体育施設

温泉施設

	12月							1月							備考
	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
	木	金	土	日	月	火	水	木・祝	金	土	日	月	火	水	
市役所 (本庁・各総合支所)			●	●	●	●	●	●	●	●	●				本庁☎66-1500 各総合支所(三国☎82-3111、丸岡☎68-0800、春江☎51-1100) ※市役所は閉庁しますが、出生や死亡など戸籍届出は休日直者が受け付けます
丸岡総合福祉保健センター、春江保健センター、坂井健康センター			●	●	●	●	●	●	●	●	●				丸岡総合福祉保健センター☎68-5051 春江保健センター☎51-5787 坂井健康センター☎50-3067
公民館			▲	▲	●	●	●	●	●	●	▲				12月27・28日、1月4日は、利用者がある場合、開館します。詳しくは、各公民館まで
児童館 青少年愛護センター みくにはるえさかい図書館 まるおか図書館			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	詳しくは、各児童館まで ☎51-9410 みくに☎81-2900 まるおか☎67-1500 はるえ☎51-8810 さかい☎67-2666
子育て支援センター(相談)	~11:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	三国☎81-6550 丸岡☎67-4157 春江☎51-9644 坂井☎68-4188
三国病院(小児科)					9:00~11:00	9:00~11:00	9:00~11:00	休日当番 9:00~	9:00~	9:00~	●				【一般】1月1日は内科・外科の休日当番医 【小児科】12月29日~1月3日の9:00~11:00は小児科医が診察します ☎67-5300 ☎81-9777
赤坂聖苑 代官山斎苑 いねす(交流センター直売所) (味処けやき)								●	●	●	●	●	●	●	☎72-7600(代表)
ユリウム春江								●	●	●	●	●	●	●	☎58-0100
みくに龍翔館 ONOMEMORIAL みくに文化未来館	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎82-5666 ☎81-3556(12月3日~3月1日まで休館) ☎82-7200 ☎82-0299 ☎82-8552 ☎82-0947 ☎51-8800
旧森田銀行本店 三国湊町家館 旧岸名家住宅								●	●	●	●	●	●	●	☎66-0303(1月1日は無料開放) ☎67-0001
丸岡城 丸岡歴史民俗資料館				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	三国運動公園管理事務所☎82-5580 丸岡体育館☎66-8920 春江体育館☎51-4242 スポーツ課☎50-3163 ☎82-8833 ☎67-4646(プール) ☎66-5665(フィットネス) ☎82-7070
丸岡町内体育施設 丸岡町内体育施設 春江町内体育施設 坂井町内体育施設								●	●	●	●	●	●	●	
三国運動公園屋内温水プール 丸岡B&G海洋センター 丸岡フィットネスセンター 三国温泉ゆあぼ〜と				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎68-5050(年末年始は休まず営業。1月1日~4日は早朝営業)
霞の郷温泉								8:00~24:00	8:00~24:00	8:00~24:00	8:00~24:00				
余熱館ささおか	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	☎74-2221(現在、臨時休業中)

	12月							1月							備考
	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
	木	金	土	日	月	火	水	木・祝	金	土	日	月	火	水	
ごみ収集日															●環境衛生課☎50-3032
ごみ	三国	丸岡	春江	坂井	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	★可...もやせるごみ 不...もやせないごみ ★●は休止 ★■で示したところは、通常と変わるもの ※年末の大掃除や正月などで、家庭から出るごみが多くなる時期です。今一度、ごみカレンダーで「もやせるごみ」「もやせないごみ」「資源またはプラごみ」が出せる日の確認をお願いします
空き缶等自動回収機															~17:00
清掃センター(☎74-1314)			●	●				●	●	●	●				8:30~
環境衛生組合(☎72-2200)			●	●	~16:00	●	●	●	●	●	●	●	10:00~		

霞の郷温泉のスタッフ募集!

内容 運営管理業務
勤務 朝6時~深夜1時の間で8時間程度
賃金 時給850円~1,100円 休日 週休2日
待遇 交通費(当社規定)・各種保険完備
資格 普通自動車免許 担当:中島

【12月のイベント】
柚子(ゆず)風呂 12/21(日)

営業時間 午前10時~深夜0時 休館日 毎月第3木曜日
霞の郷温泉 0776-68-5050

新聞 雑誌 ダンボール 持込大歓迎!!

事業所、一般の方歓迎
子供会、町内会、婦人会等の団体様の資源回収も承ります。
お気軽にお問い合わせください。
(お問い合わせ番号)
TEL 0776-35-3455



清水紙料株式会社
坂井市坂井町長畑16字10番 TEL 0776-43-3688

坂井チャンネル29 1月の番組案内

Digital 529ch
Analog 29ch

番組についての問い合わせは、秘書広報課まで。☎50-3012
kouhou@city.fukui-sakai.lg.jp
※都合により番組内容を変更することがあります。ご了承ください

タイトル	開始時間
おめでとう赤ちゃん	7:00, 10:00, 13:00, 19:00
お悔やみのお知らせ	7:07, 10:07, 13:07, 19:07
行政情報文字情報	7:14, 10:14, 13:14, 19:14
坂井市ニュース	7:23, 10:23, 13:23, 19:23
ふれんずTV	7:33, 10:33, 13:33, 19:33
1日~14日 少林寺拳法連盟三国湊支部編	
15日~31日 未定	
映像玉手箱	7:43, 10:43, 13:43, 19:43
1日~31日 まるおか子供歌舞伎 第8回公演	
マリントレー	9:54, 12:54, 15:54, 21:54
1日~31日 三国町民体育祭 編	
サイエンスチャンネル	16:00
三国競艇ミニ情報	22:00 ※送終了後より翌朝7時まで放送休止

休日診療

月日	科	内科	外科
1月1日(木・祝)	三国病院(三国町)	☎82-0480	三国病院(三国町)☎82-0480
2日(金)	国立あわら病院(あわら市)	☎79-1211	木村病院(あわら市)☎73-3323
3日(土)	木村病院(あわら市)	☎73-3323	国立あわら病院(あわら市)☎79-1211
4日(日)	宮崎病院(三国町)	☎82-1002	加納外科病院(あわら市)☎73-0259
11日(日)	西岡医院(あわら市)	☎77-2138	三国病院(三国町)☎82-0480
12日(月・祝)	藤田医院(あわら市)	☎78-7133	木村病院(あわら市)☎73-3323
18日(日)	国立あわら病院(あわら市)	☎79-1211	荒川整形外科・胃腸科(丸岡町)☎66-0012
25日(日)	金津産婦人科クリニック(あわら市)	☎73-3800	宮崎病院(三国町)☎82-1002
	近藤小児科医院(丸岡町)	☎66-0217	

三国競艇 開催のご案内

レース結果配当金 ☎0180-997788(2連勝)
☎0180-997722(3連勝)
http://www.mikuni.gr.jp/
1月1日(木・祝)~6日(火) 第35回初夢賞
1月9日(金)~12日(月・祝) むつき第1戦
1月15日(木)~18日(日) むつき第2戦
1月15日(木)~16日(金) GI近松賞(尼崎場外)
1月20日(火)~25日(日) GI新鋭王座決定戦(びわこ場外)
1月28日(水)~2月1日(日) 水仙花賞

税・保険料の納付期限

■ 市民・県民税 4期
■ 国民健康保険税 7期 2月2日(月)
■ 後期高齢者医療保険料 7期 (普通徴収分)

1月相談日

相談はすべて無料。
※法律相談と心の健康相談は予約が必要です。事前にお問い合わせください

行政相談	秘書広報課 ☎50-3012
19.26日(月)	13:30~16:00 三国社会福祉センター
20日(火)	10:00~12:00 霞の郷
21日(水)	13:30~16:00 春江総合支所
22日(木)	13:30~16:00 東十郷公民館
人権相談	社会福祉課 ☎50-3041
7日(水)	13:30~16:00 春江総合支所
13日(火)	13:30~16:00 霞の郷
19日(月)	13:30~16:00 三国社会福祉センター
22日(木)	13:30~16:00 東十郷公民館
年金相談	保険年金課 ☎50-3031
14日(水)	13:30~16:00 三国社会福祉センター
21日(水)	9:00~17:00 丸岡総合支所
消費生活相談	市民生活課 ☎50-3030
5.19日(月)	9:00~17:00 市役所 本庁 第3相談室
女性相談・子ども家庭相談・ひとり親家庭相談	児童家庭課 ☎50-3042
(来庁の場合は事前にご連絡ください)	月~金曜日 9:00~17:00 児童家庭課
心配ごと相談	市社会福祉協議会 ☎68-5070
6.20.27日(火)	13:00~16:00 霞の郷
7.14.28日(水)	13:00~16:00 いちい荘
8.15.22日(木)	13:00~16:00 坂井老人福祉センター
26日(月)	13:00~16:00 三国社会福祉センター
法律相談(要予約)	市社会福祉協議会 ☎68-5070
13日(火)	13:00~16:00 霞の郷
19日(月)	13:00~16:00 三国社会福祉センター
21日(水)	13:00~16:00 いちい荘
29日(木)	13:00~16:00 坂井老人福祉センター
結婚相談	市社会福祉協議会 ☎68-5070
5.19日(月)	13:00~16:00 霞の郷
15日(木)	13:00~16:00 いちい荘
15日(木)	13:00~16:00 坂井老人福祉センター
26日(月)	13:00~16:00 三国社会福祉センター
心の健康相談(要予約)	坂井健康福祉センター ☎73-0600
8.15日(木)	14:00~16:00 坂井健康福祉センター(あわら市春宮2丁目21-17)
Eイズ、B型・C型肝炎の相談と検査	坂井健康福祉センター ☎73-0600
26日(月)	9:00~11:00 坂井健康福祉センター(あわら市春宮2丁目21-17)

「ふれんず」は坂井チャンネル29でもご覧いただけます！
 今回の内容は、12/15(月)～1/14(水)まで放送します。
 お楽しみに！ ☎ 秘書広報課 ☎50-3012



心と体を鍛え 真の強さを目指せ！



気合の入った掛け声を出し、稽古に励む拳士たち

小 さな体に大いなる闘志を燃やし、剛柔一体の護身の技の修練に励む子供たち。それが「少林寺拳法連盟三国湊支部」だ。

同支部は、発足から23年目。拳士たちは、先輩たちが作ったモットー「活気、やる気、勇気」を受け継ぎ、稽古に打ち込む。また、県大会の団体演武小学生の部では、1期生から20年連続で最優秀を受賞しているなど、輝かしい実績を持つ。

団体演武のリーダー、西川拓実さん(三三国南小6年)は「19年連続最優秀を知っているプレッシャーを感じたけど、その分、みんなで頑張った」と、今年の最優秀受賞を振り返る。

土田留衣さん(雄島小6年)は「組み演武や団体演武など、みんなと一緒に修行することが楽しい」と少林寺拳法の魅力を話す。支部長の見崎俊次さんは「少林寺拳法は人づくりの道。しっかりと自分をつ

くることが、相手のことを考えて行動することを学んでほしい」と教え子を見守る。日々の稽古で体を鍛え、不撓不屈の精神を養う拳士たち。体と心をバランスよく磨き、「本当の強さ」を目指しているグループだ。

少林寺拳法連盟三国湊支部



メンバー 45人(少年の部24人)
 代表 見崎俊次さん
 (三国町運動公園)

コメント
 「毎週火・木・土18時30分から、三国体育館武道場で稽古中。元気を出して、しっかりものを言える子供になってほしいと指導しています」

純な旅

『温もり』
 (丸岡町霞町4丁目)

冬の初めの日だまりはなぜ心地いい。痛みも不安も後悔も全部包み込んでくれるあったかい母の胸のよう。立ち向かう勇気をくれる魔法のよう。



編集後記

▼特集の取材では、モノに対する人の情熱が多くの人を動かし、より魅力的なモノを作り出していることを知らされました。「技術や品質よりも人」。熱い思いを語る皆さんの輝きのある目が、今でも印象に。(嘉)

▼住むまちに誇りを——そんな思いで特集を編集。情熱や可能性に満ちた坂井市を魅力的にしていく力は、住む人の「誇り」。広報さかいも、皆さんに住む喜びや希望を届ける「応援団」でありたいと思います。(純)

平成20年12月11日

発行

坂井市

編集

秘書広報課

〒919-0592
 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地
 TEL 0776-66-1500 FAX 0776-66-4837
 URL http://www.city.fukui-sakai.jp/
 E-mail kouhou@city.fukui-sakai.jp